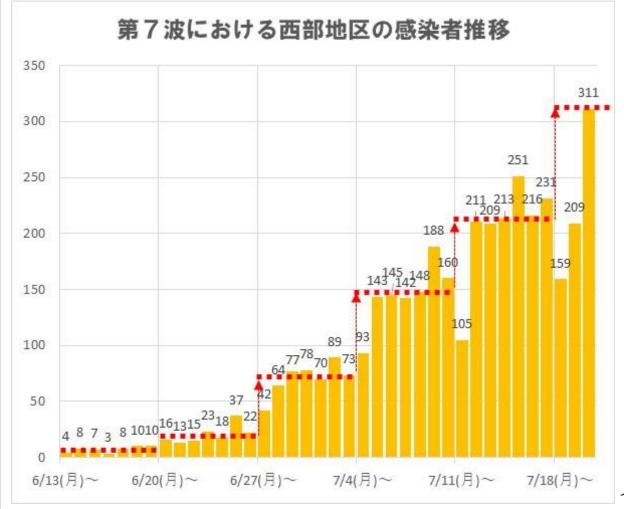
資料3-10

鳥取県提出資料

- 6月中旬から西部地区で新規陽性者数が急増。7月以降に中部地区でも急増 東部地区でも上昇傾向
- 月曜日に陽性者が急増、その後1週間は同レベルで推移する傾向を毎週繰り返している。





第7波の新規陽性者数 推移(No.2)

- ■第6波以降、西部地区から感染の波が始まり、中部、東部地区と順に流行の波が来ている。
 - ・西部地区:米子鬼太郎空港を擁し、鉄道・高速道路の山陰の玄関口と、人の流入経路が複数あり、また島根県西部とも 生活面等での交流が多く、県内では流行の波が最初に出てくる地域
 - ・中部地区:西部地区とのつながりが強く、西部地区の影響を受けやすい
 - ・東部地区:関西方面とつながりが強く、関西方面の影響を受けやすい

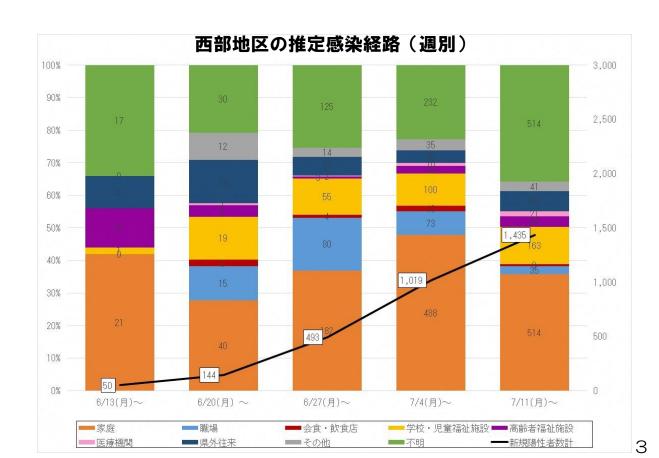




鳥取県西部地域でどのように感染が拡大しているか

- ■時間が経過するとともに、感染の舞台が拡大している・・・・第6波以前も同様な傾向
- ■家庭内での感染が多く、家庭を介して様々な施設で感染が拡大
 - ①職場 → (家庭) → ②学校・保育施設 → (家庭) → ③高齢者施設・医療機関 ※職場感染の拡大から1週間以内で上昇 (今後さらに増加のおそれあり)
- 県外往来(島根県を含む)も上昇傾向 ※鳥取県西部地域は、島根県東部地域と生活上の往来が多い地域





新規陽性者数とBA.4又はBA.5系統疑いの推移

○直近(7/4-8)は、全県平均61%が「BA.4又はBA.5系統疑い」(変異株スクリーニング検査)

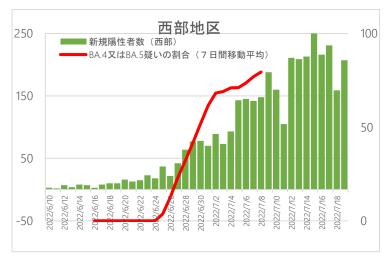
	6/20-26	6/27-7/3	7/4-8
東部	4%	19%	22%
中部	0%	37%	73%
西部	40%	73%	84%

- ○「BA.4又はBA.5系統疑い」は、7月以降はすべて「BA.5系統」(ゲノム解析)
 - →「BA.4系統」、「BA.2.12.1系統」は、接触者への早期・幅広検査により早期封じ込め

<オミクロン株の新系統置き換わりの状況>









「BA.4又はBA.5系統疑い」への置き換わりと時期を同じくして、 6月下旬から西部地区、その後中部地区で新規陽性者数が急増

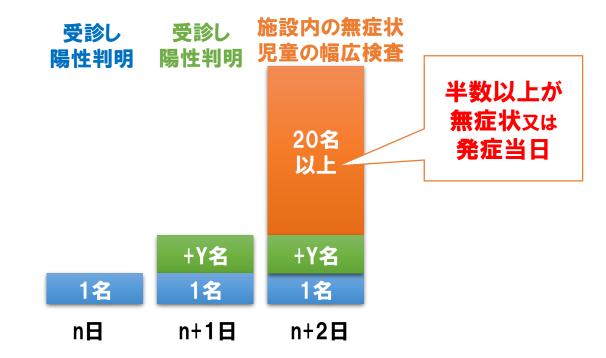
第7波における特徴的な感染事例

○一定の感染対策を行っている施設等でも集団感染が発生

- ・空間的に離れており、接触の程度が少ない同フロアの別部署への感染確認(同一ゲノム)【事例①】
- ・児童福祉施設の幅広検査で1日に20名超の感染が判明【事例②】
- →感染力が強く、感染スピードが速く、一気に広がる(エアロゾル感染も疑われる)

【事例①】事業所 同フロアの 同部署 受診し 別部署全員検査 全員検査 陽性判明 +2名 無症状 5名含む 十Y名 十丫名 X名 X名 X名 nΘ n+1⊟ n+2日

【事例②】児童福祉施設



地域内での感染連鎖

- ○各種スポーツ活動等を介して家庭、学校等に感染拡大
 - ・発症前の出勤・通学などによる感染拡大
 - ・発症後も勤務継続により感染拡大していた施設もあり
 - ➡ 疫学調査と検査の丁寧・着実な実施により連鎖を断ち切っていくことが重要

